

外部評価結果及び反映状況等について

課題名 特産野菜を安定的に生産出荷するための土壌管理技術の普及支援

○評価結果：A（良好）

【評価すべき点】

- ・現状を把握した適切な課題と目的が設定されている
- ・地域農業改良推進協議会、市、農協、農事研究会などの生産者組織とよく連携されている。

【改善すべき点】

- ・緑肥導入に対するタイム&コストパフォーマンスを示す必要がある。
- ・課題解決の手段に新技術の導入を検討してほしい。
- ・成果目標を共販出荷量としているが、生産調整等を考えると生産量や反収、品質等を目標とすることを検討する必要がある。

【その他（要望等）】

- ・農事研究会などの生産者組織に属さない生産者に対する情報提供に注意してほしい。
- ・課題の性格上、4年間で改善結果を示せるか分からないが、是非、成果を出してほしい。技術導入によって、野菜の品質や収量、土壌の化学性・物理性の改善などの効果が示せれば、生産者が積極的に取り組むための動機付けになる

○評価に対する改善策等

- ・緑肥導入に対するタイム&コストパフォーマンスについては、導入生産者に聞き取り調査を行い、「緑肥栽培事例紹介」の補足資料として、令和6年3月までに作成・配布します。
- ・安定的に生産出荷するためには、病虫害防除技術等も必要となりますので、土壌管理技術と併せて指導するとともに、導入可能な新たな技術は積極的に情報収集し、検討します。
- ・成果目標については、産地として安定した出荷量を確保する観点から設定しているものですが、補足データとして、地区ごとに標準的な生産者2戸を抽出し、10a当たり収量を把握します。
- ・農事研究会などの生産者組織に属さない生産者に対しても情報提供するため、農協主催の勉強会で情報提供する他、営農指導員向けの資料を作成し、現場指導力を強化します。
- ・成果目標を達成するため、引き続き土壌管理技術の普及に取り組んでいきます。

○次年度以降の普及指導計画への反映状況（又は反映予定）

- ・成果目標には、10a当たりの収量を併記します。
- ・営農指導員向けの資料作成を位置づけます。

## 外部評価結果及び反映状況等について

## 課題名 農業の担い手の育成支援

○評価結果：A（良好）

**【評価すべき点】**

- ・ 県内の畜産を支えていく担い手の育成は非常に重要であり、課題と目的は適切に設定されている。
- ・ 評価項目の一部は達成していないが、計画はきめ細かく設定されており、限られた人数で県内を精力的に巡回し、活動している。

**【改善すべき点】**

- ・ 後継者に対してだけでなく、後継者の親子間の話合いの場を活動の中で設けてほしい。
- ・ より参加しやすい集合研修のためオンラインの導入を検討してほしい。
- ・ 県内の畜産農家に対象者が相談してアドバイスがもらえるような関係が作れるような取り組みを行ってほしい。

**【その他（要望等）】**

- ・ 今後、畜産の現状など具体的な数字を資料に記載するとともに、関係機関との連携なども分かるように説明してほしい。
- ・ 対象農家の課題や活動の目的により、6次産業化プランナーや社会保険労務士などの専門家とも必要な連携を行ってほしい。
- ・ 目標値の中で販売金額を設定していたが、農業所得にした方がより望ましいという意見があった。

○評価に対する改善策等

- ・ これまでのセミナー生の支援においても、飼料設計の変更等、経営判断が必要なときには、親子間の話合いの場を設けている。今後は、親子に対して事前説明を必ず行い、計画的に親子間の話合いの場を設定する。
- ・ 集合研修は、会場参加とオンライン参加のハイブリッドでの開催を検討する。
- ・ 県内の畜産農家に対象者が相談できるシステムは、関係団体や市町村と協力して、可能な方法を模索する。
- ・ 個々の経営体の状況を把握した上で、農業所得も留意しながら普及活動を行っていく。

○次年度以降の普及指導計画への反映状況（又は反映予定）

- ・ 親子間の話合いの場の設定、集合研修のハイブリッド開催については、次年度から実施する。
- ・ 県内の畜産農家に対象者が相談するシステムの構築は、テーマや地域別にモデル的な取組みを検討する。
- ・ 畜産の現状数値、関係機関との連携の詳細については計画に記載する。目的に応じて各種専門家との連携を積極的に行う。